



Sport and Health Science

スポーツ健康科学分野の最先端がここに

Field of Dreams

立命館大学

スポーツ健康科学部

2018



What's "Sport and Health Science"?

「スポーツ」と「健康」を科学する。 4つのコースの学びを踏まえ、 社会に貢献する実践力と 大きな視野を育む。

今、社会では、健康の維持・増進に役立つ科学的な運動指導、日常生活を充実させる存在としてのスポーツのあり方が求められています。このような社会的ニーズに応えるため、スポーツ健康科学部では総合的・学際的な観点から「スポーツ」と「健康」に関わる幅広い課題にアプローチします。

理学、工学、保健衛生学、医学、教育学、経営学などとあわせて、実践的な活動にも取り組むことで、現状の課題を把握し、解決策を提示できる人材を育成します。

そのために、体系的なカリキュラムを用意しました。1・2回生ではスポーツ健康科学に関する基礎的な科目を学び、3回生から多様な関心や目指す進路に対応した「スポーツ科学」「健康運動科学」「スポーツ教育学」「スポーツマネジメント」の4コースに分かれて専門的な学びを深めます。

4つのキーワード

科学的に競技力を向上させる	健康の維持・増進を図る
保健体育・多様なスポーツに関わる指導法を探る	組織の運営を学ぶ



スポーツ科学

パフォーマンスが向上する 正しい方法を学ぶ

井上 健一郎 さん 3回生
愛知県・愛知県立刈谷高等学校出身

幼少期からサッカーを続けていましたが、自分なりに工夫したトレーニング方法や練習方法が、果たして科学的に見て合理的なのかという点に疑問を持っていました。そこで、運動パフォーマンスを向上させる正しい方法を学びたいと、本学部への進学を決めました。ゼミでは、サプリメントとトレーニングとの組み合わせが、遺伝的要因による個体差において、どのような運動効果の変化をもたらすかという実験をしています。入学前に希望していたことが学べ、とても充実した毎日を過ごしています。今後は、トレーニング方法に悩むスポーツ好きの子どもや運動嫌いの方に、科学的根拠を持った指導やアドバイスが届けられるよう、大学院に進学し研究を深めたいと考えています。

最先端の施設・設備に囲まれ 実践へ活かすスキルを学ぶ

家光 素行 教授

スポーツ科学コースは、バイオメカニクスやスポーツ工学のみならず、運動生理学や生化学に関することまで、幅広く学べるのが特色です。なぜオリンピック選手は強いのか、選手がさらに高いレベルを目指したい時にどんなトレーニングをすればよいのかなど、身体の機能の高め方や動作について、理論的に考えていくのがスポーツ科学コースと言えます。

健康運動科学

スポーツによる怪我の 予防や回復方法について研究

石村 美桜 さん 4回生
愛媛県・愛媛県立宇和島南中等教育学校出身

中学・高校とバレーボール部に所属していた時、練習や試合時に足の捻挫をした部員への適切な怪我の対処法や予防法が分からず、悩んだことがありました。怪我に対する知識があれば、もっとプレーに集中できたかもしれないと考えもあり、現在は、整形外科医でもある篠原先生のゼミに所属しています。ゼミでは、スポーツにおける怪我の原因や対処方法だけでなく、怪我からの回復やリハビリテーションについて等、身体に関すること全般を学んでいます。このゼミでの学びを踏まえ、卒業論文のテーマは『足関節の捻挫』としました。捻挫が起こる仕組みや発生率、捻挫対策としての鍛え方や、捻挫後の経過等について、出身高校のバレーボール部員にも協力してもらいながら調査・研究をする予定です。

健康の維持・増進に貢献できる 運動指導者の育成を目指す

篠原 靖司 教授

運動量・身体活動量の増加や、体力の向上によって様々な運動器傷害や生活習慣病になる確率が下がります。本コースでは、健康の維持増進に対する運動・身体活動効果のメカニズムを学んだ上で、健康を保つためのプランを提案できる人材を育成、運動器傷害を原因とする体力の低下や、生活習慣病などの予防に貢献できる知識・実践力を養います。

スポーツ教育学

スポーツ栄養学の知識をもつ 世界を舞台にしたトレーナーに

山本 和広 さん 3回生
東京都・東京都立駒場高等学校出身

高校時代からトレーナーになる夢があり、米国公認アスレティックトレーナー資格を取得する為のプログラム（GATプログラム）がある本学部に入學しました。現在は、世界で活躍するトレーナーになる為の基礎として、スポーツ科学やスポーツ医学だけでなくスポーツ栄養学の知識を身に付けようと考え、実際の現場でアスリートの「食」について取り組む海老先生のゼミを専攻しています。ゼミでは、アスリートのパフォーマンス向上における食事の重要性について研究中です。将来は、世界各地で公演を続けるアクロバティック・パフォーマーの食事に関してサポートできるような、グローバルなトレーナーになることを目標にしています。

科学的アプローチで 人を「育てる」技法を学ぶ

海老 久美子 教授

体育・スポーツに関わる指導理論・実践を学ぶコースです。教育学・栄養・コーチング・心理学・発達発達学・障がい者スポーツ等、パラエティーに富んだ領域において、指導実践の行い方を常に問いかけることが、本コースのコンセプトです。教員や、スポーツ指導者いずれも、科学的根拠に基づいた指導技術・指導方略が重要となります。

スポーツマネジメント

女子相撲部キャプテンとして スポーツマネジメントを学ぶ

野崎 舞夏星 さん 3回生
静岡県・静岡県立浜松西高等学校出身

小学校から相撲を始め、高校時代には世界女子ジュニア相撲選手権、全日本女子相撲選手権大会で優勝しました。大学進学を考えた時に、高校時代に全国大会で対戦していた先輩が、立命館大学に入学して勉強と相撲とを両立していると感じたので、本学部への進学を決めました。現在の所属ゼミを選択したきっかけは、選手ごとの目標やモチベーションの差などから生まれる不満の解消方法やリーダーシップ論に興味があった為です。現在は、リーダーシップのある人材の育成方法や組織マネジメントについて学んでいます。将来は大学での学びを活かして、相撲だけでなくスポーツの面白さや魅力を伝えることができる仕事に就きたいと考えています。

スポーツを通して 社会での実践スキルを身に付ける

山浦 一保 教授

観る、する、支えるなど、非常に多面的なスポーツと人との関わりをさまざまな角度からデザインするのが、スポーツマネジメントの世界です。スポーツを題材に、リーダーシップやマネジメント、マーケティングなどの社会に通用する実務的なスキルを身につけるとともに、スポーツの振興についても考察します。

Curriculum

3 回生から 4 コースに分かれ、関心や進路に応じた実践的教育を学ぶ

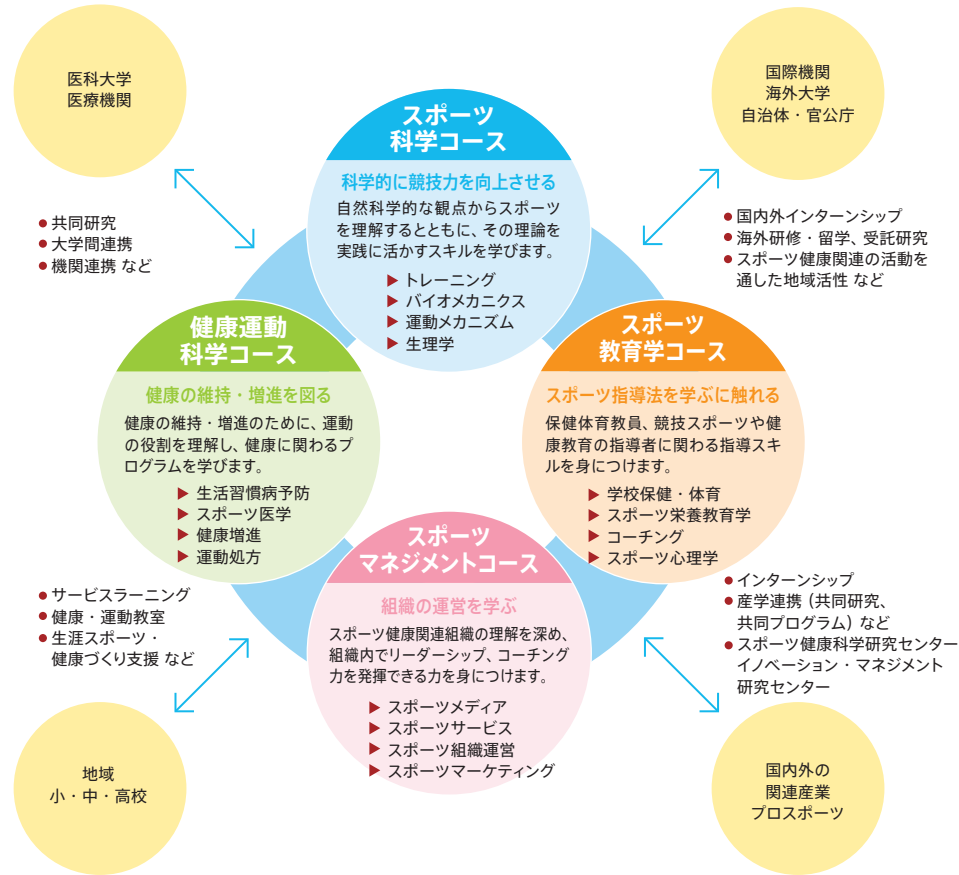
学際的に理論を学ぶとともに、国内外の組織等との連携や、最新鋭の施設・設備を活用した実践的教育を展開します。

身につけることができる知識・能力

- 1 スポーツ健康科学を構成する多様な分野の基礎知識
- 2 組織を動かすリーダーシップ・コーチングの力量
- 3 理論と実践を通したスポーツ健康分野の専門知識・技術



最先端の機器を使用した実習プログラム



学習段階に合わせ、各プログラムをバランス良く配置したカリキュラム

自然科学と社会科学を網羅した総合的な視点からスポーツと健康にアプローチします。

Curriculum		1 回生		2 回生	
		1 セメスター	2 セメスター	3 セメスター	4 セメスター
基礎的力量					
基礎専門科目	リテラシー科目	日本語表現法 基礎理科 簿記入門	基礎数学	調査方法論	
	基盤科目	スポーツ健康科学 生涯スポーツ論	基礎スポーツ医学Ⅰ（内科系） 学習科学論 マーケティング論 基礎経営学	基礎スポーツ医学Ⅱ（外科系） スポーツ心理学 スポーツマネジメント論	衛生学（公衆衛生含む） 健康産業論 リーダーシップ論
専門科目	共通科目	スポーツ健康科学特殊講義Ⅰ スポーツ健康科学セミナーⅠ		スポーツ健康科学特殊講義Ⅱ スポーツ健康科学セミナーⅡ	インターンシップ（国内・海外） サービslラーニング（専門）
	実習科目	スポーツ指導実習A（バスケットボール/ソフトボール） スポーツ指導実習A（バレーボール） スポーツ指導実習A（サッカー） スポーツ指導実習B（ダンス）	スポーツ指導実習B（アダブテッドスポーツ）	スポーツ指導実習B（陸上競技） スポーツ指導実習B（器械体操）	スポーツ指導実習B（柔道） スポーツ指導実習B（有酸素・レジスタントトレーニング） パフォーマンス測定評価実習Ⅰ パフォーマンス測定評価実習Ⅱ

小集団
演習

基礎演習 ※25名程度

研究入門 ※20名程度

●1・2回生では、プロジェクト発信型英語「英語P（プロジェクト英語）」、「英語S（英語スキルワークショップ）」が外国語科目（必修）として配置されています。

Message

グローバルな視野とリーダーシップを備え スポーツ健康科学分野への理解をもって世界で活躍するために



スポーツ健康科学部 学部長

伊坂 忠夫 教授

現在、国内では2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックへ向け、スポーツを中心とする様々な取り組みが行われています。スポーツ健康科学の分野においてもさらなる発展を国内、国外から期待されている状況です。

そんな中で、本学部は、学部の設立時より、グローバルな視野とリーダーシップを備え、スポーツ健康科学分野への理解をもって世界で活躍する人材の育成を目指してきました。

それは、みなさまが単に海外に行くということだけでなく、国内外において、世界に貢献する研究や開発活動を担うことももちろん含まれます。それをサポートする為、本学部の教員は、世界中にネットワークを持ちながら、最先端の研究成果を国際的に発信している研究者で構成しています。また、ここには、それらの研究にふさわしい施設・設備・ネットワークが整っています。

この素晴らしい環境の中でこれからの未来を作る皆さんに、ぜひ学んで頂きたいと考えています。

そして、「あいコア (i-core) ※」精神で表される、スポーツ健康科学のプロとしての視点を持って、世界中で活躍していただきたいです。

※「あいコア (i-core)」精神

プロフェッショナルに求められる、志・思考・行動を、本学部の教育研究棟 (Integration Core) の愛称「あいコア (i-core)」で表現し、常に心がけています。

I ... integrity 高志
C ... challenge 挑戦
O ... original 創意
R ... research 研究
E ... effort 全力



講義課題「学部長インタビュー」の様子

3 回生		4 回生	
5 セメスター		6 セメスター	
		7 セメスター	
		8 セメスター	
専門的力量			
各 コ ー ス 専 門 科 目	スポーツ科学コース	エクササイズプログラミング論 スポーツ医工学 スポーツサイバネティクス論 スポーツ生化学 スポーツ生理学 スポーツバイオメカニクス論 スポーツ科学特殊講義	
	健康運動科学コース	運動処方論 健康運動指導論 健康増進科学 運動生理学 生活習慣病論 健康施策論 健康運動科学特殊講義	
	スポーツ教育学コース	スポーツ栄養教育学 学校保健学 スポーツ教育学 スポーツカウンセリング論 スポーツ指導論 アダプテッドスポーツ論 スポーツ教育学特殊講義	
	スポーツマネジメントコース	組織マネジメント論 サービスマネジメント論 スポーツビジネス論 スポーツ政策論 スポーツマーケティング論 スポーツメディア論 スポーツマネジメント特殊講義	
専門英語 (スポーツ健康科学Ⅰ)		インターンシップ (健康運動指導士) 専門英語 (スポーツ健康科学Ⅱ)	
スポーツ指導実習B (水泳)			
健康スポーツ指導実習		解剖・生理学実習	

専門演習 (ゼミナール) ※10名程度

専門演習 (ゼミナール) ※10名程度

※1クラスあたりの人数
カリキュラムの内容は予定であり変更の可能性があります。

大学院進学

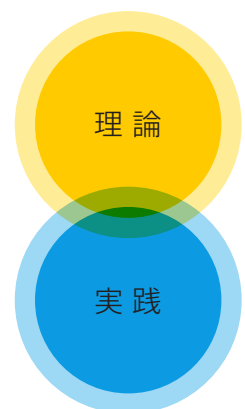
就職

Study

「理論と実践」の学びを通じて、社会に貢献できる人材を育てる

スポーツ健康科学分野の基礎となる理論はもちろん、実践的な教育にも重きを置き、実験・実習やインターンシップ、サービスラーニングといった地域・企業と連携する科目も充実しています。授業と課外活動が連携し、理論で学んだことを実践することで学びを深め、現場で応用できる力を養成。このような「理論と実践」双方の学びを通し、社会に貢献できる人材を育てます。

総合的・学際的な科目から
スポーツ健康分野を学ぶ



理論をスポーツ健康分野の現場で
実践する

■ インターンシップ

立命館大学はインターンシップの派遣者数で日本でも有数の規模を誇ります。そんな立命館大学のなかで、スポーツ健康科学部は、派遣者数・実習先(提携先)企業・団体数が最も多い学部です。実習先は、Jリーグのプロサッカークラブやプロ野球独立リーグ、スポーツ用品メーカーだけでなく、出版社や教育委員会など、多岐に渡ります。また、海外でのインターンシッププログラムも実施し、グローバルに活躍したい学生を応援しています。

学生インターシップ体験談 [JISS〈国立スポーツ科学センター〉]

進路を考え出した3年生時、研究職への興味から、JISS(国立スポーツ科学センター)のインターンシップへ参加しました。その時、JISSの運営はJSC(日本スポーツ振興センター)が担っていて、JSCはJISSのようなトップアスリートの支援だけでなく、学校安全への支援やスポーツ振興に関する支援、体育館や競技場の運営など、日本のスポーツを幅広くサポートしていることを知りました。そして、その点が、本学部のスポーツ科学コースや教職課程で、スポーツ・健康について幅広く学んでいた私にとって最適な場所であると考え、就職を志望するようになりました。

現在は、学校安全部という部署で学校安全に関する業務を担当しています。主に、学校で発生したケガに対する医療費給付業務を行っている為、身体の部位やケガの名称と向き合う日々です。この業務は、本学部で学ぶような身体の部位やケガに対する知識を必要とする為、学部での学びは業務と深く関連しています。また、関係者に制度の説明をする機会では、学生時代に学会発表や卒業論文の口頭試問を経験していたことが、簡潔にそしてわかりやすく説明する力として活かされました。

このように、学生時代のインターンシップがきっかけで就職を志望したJSCにおいて、本学部での学びは多く活かされています。今、与えられている仕事で幅広い知識を更に習得しながら、将来的にはJISSで働くことが目標です。



内田 絵梨 さん

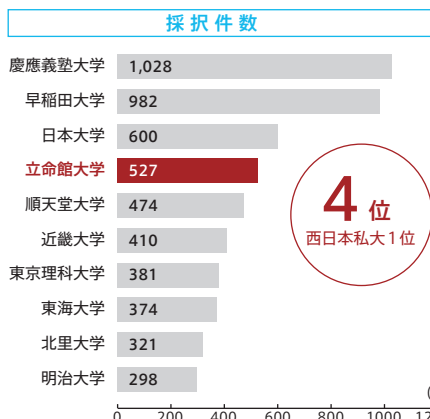
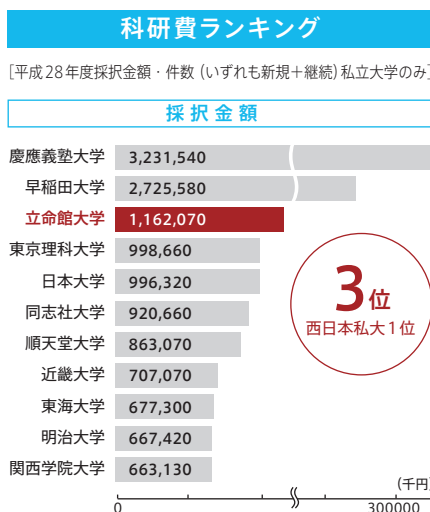
独立行政法人日本スポーツ振興センター
学校安全部 大阪給付課 勤務
大阪府・桜宮高等学校出身

■ スポーツ健康科学分野において 圧倒的に高い水準にある研究力

立命館大学は、文部科学省から発表された「平成28年度科学研究補助金(科研費)の配分」において、採択金額ランキングで慶應義塾大学、早稲田大学に次ぐ私大3位(西日本私大1位)、採択件数ランキングでは私大4位(西日本私大1位)となりました。

そんな立命館大学の中でもスポーツ健康科学部は、過年度の科研費新規採択率が50%(全国平均26.6%)、保有率92%と、最も高い学部となります。

各教員が高度な研究実績を持ち、国内外においてスポーツ健康科学分野をリードする研究を積み重ねてきました。この数値は、スポーツ健康科学分野の他大学と比較しても圧倒的に高い水準にあり、本学部の研究水準の高さを示しています。



グローバル・アスレティックトレーナー (GAT) プログラム



ATCとは

ATC (Certified Athletic Trainer) 米国 公認アスレティックトレーナー

1990年にアメリカ医学会において認知されたATCは、プロスポーツ選手から一般の人々を対象に、活動(運動)中に起こる外傷の救急措置、傷病や疫病の予防・認知・評価、評価、リハビリテーションなどに関わる専門職であり、理学療法士や看護師等と同じ準医療従事者です。ATCの資格を得るためには、CAATE公認^{*1}のカリキュラムを持つ大学もしくは大学院を卒業(修了)し、BOC^{*2}による資格認定試験に合格する必要があります。更に、米国における制度変更により、今後認定試験の受験資格が学士から修士に引き上げられます。

^{*}1 CAATE: The Commission on Accreditation of Athletic Training Education ^{*}2 BOC: The Board of Certification Inc.

☑ GATプログラムとは



立命館大学 スポーツ健康科学部 学士号取得



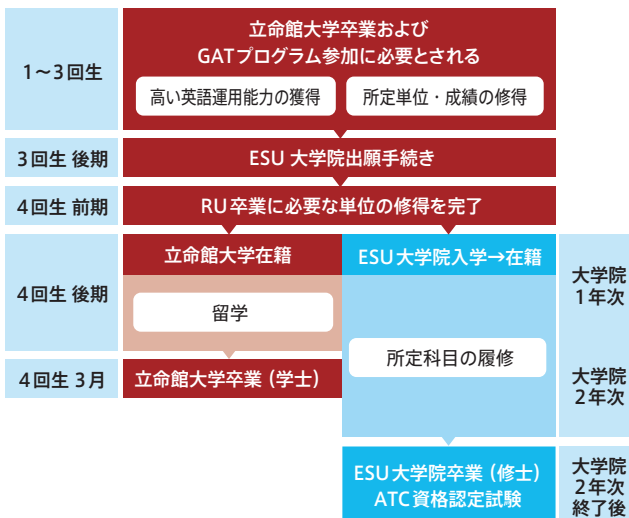
立命館大学の学士号とESUの修士号の双方を取得し ATCの資格取得を目指す独自の留学プログラム

GATプログラムは、CAATE公認のカリキュラムを備えた大学院を持つ米国のEast Stroudsburg University of Pennsylvania(以下、ESU)と提携し、4年生の前期終了時までに立命館大学の卒業に必要な科目の修得を終え、夏頃からESU大学院へ留学し、立命館大学の学士号とESUの修士号の双方を取得することで、ATCの受験資格を得ることができるよう設計されています^{*}。

最大の特長は、立命館大学で修得した科目がESU大学院進学のための先修要件として認められるということです。これにより、通常個人で留学する場合と比べて短い期間で修士号まで取得しATCの受験資格を得ることができます。

^{*}早期卒業制度を利用した場合は、3年生修了をもって立命館大学卒業後、ESU大学院へ留学するという形で、ATC受験資格取得までにかかる学費等の諸経費を軽減することが可能です。ただし、早期卒業制度を利用するには所定の基準を満たすことが必要となります。

☑ GATプログラムの流れ



^{*}上記は一例であり、また大枠を記載した図です。実際のスケジュールはRU及びESU大学院の学年暦に準じます。
^{*}早期卒業制度を利用した場合は、この限りではありません。
^{*}本学入学後、最終的に2つの学位を取得するには、少なくとも5年数ヶ月を要することとなります。

スポーツ健康科学部開講のGATプログラム向け科目や、ESU大学院への出願手続、大学院での講義などは、全て英語で実施されるため、高い英語運用能力が必須となります。また、最速でESU大学院へ入学するためには、一定以上の成績で4年生の前期終了時までに立命館大学卒業に必要な科目を修得する必要がある、スポーツ健康科学部における履修をしっかりと積み重ねていくことが求められます。



WEB上にパンフレットを
掲載しています。
注目!!

GATプログラムの詳細やGATプログラム参加のための準備プログラム、そして各フィールドで活躍するATCの方々や学生のインタビューなどを紹介しています。

スポーツ健康科学部 立命館 検索

Introduction

トップレベルの教員陣が、高度な研究活動を展開

高度な研究実績を持ち、国内外において

スポーツ健康科学分野をリードする教員陣が揃っています。

専門分野の枠を超えて有機的に連携し、高度な教育・研究を実践しています。



各教員の
研究紹介
ムービーも
配信中！

教員の研究内容等詳しい情報は、
「スポーツ健康科学部ウェブサイト」

<http://www.ritsumeai.ac.jp/shs/>

スポーツ健康科学部 立命館

検索

教員の実績インフォメーション (抜粋)

経歴・受賞歴等

- ＜家光 素行＞
 - American Heart Association Scientific Meeting 2004, Scientific Sessions Poster Competition- Award受賞
- ＜伊坂忠夫＞
 - トレーニング科学研究賞大賞 (2011)
- ＜長野 明紀＞
 - 日本バイオメカニクス学会学会賞 (2004)

＜藤田 聡＞

- アメリカ生理学会 (APS) 学会賞 (2005)、アメリカ栄養学会 (ASN) 学会賞 (大塚 光雄)
- International Conference on Biomechanics in Sports Young Investigator Award 3rd prize (2012)
- 日本体育学会第64回大会「若手優秀賞」(2013)
- ＜橋本 健志＞
 - American College of Sports Medicine (ACSM) New Fellow 受賞 (2014)
 - American Physiological Society

＜大塚 光雄＞

- The Perkins Memorial Award 受賞 (2005)
- American College of Sports Medicine (ACSM) International Student Award 受賞 (2004)
- Experimental Biology, 2006. (Beginning Investigator Award) 受賞 (2006)
- ＜岡本 直輝＞
 - 日本体育測定評価学会優秀発表賞 (2013)
- 『球技選手の「かわす」動作の評価法の検討』

＜岡本 直輝＞

- A agility test for rugby using sidestep. Football Science : 12, 11-17, 2015.

スポーツ科学

生体計測のための計測機器や手法の開発

健康維持や運動パフォーマンスの向上について科学的にアプローチするためには、詳細な計測が欠かせません。そのための機器や手法の開発などが研究対象です。その中の一つとして、計測装置を組み込んだスマートウェアの開発に取り組んでいます。スマートウェアは日常生活においても着用でき、特定のスポーツやトレーニング時はもちろん、日常生活の身体にまつわるデータを負荷なく計測できます。日々の計測値を知る事で、競技力向上に生かす研究や、健康状態の維持の研究に大きく貢献する事を目指しています。



塩澤 成弘 准教授

専門分野 スポーツ工学、生体工学、医用工学
研究テーマ スポーツ・健康・医療分野の生体計測センサ/デバイスに関する研究



後藤 一成 教授

専門分野 トレーニング科学
研究テーマ 競技力向上および健康増進のためのトレーニングやコンディショニングに関する研究



大塚 光雄 助教

専門分野 体育科教育・スポーツ・バイオメカニクス
研究テーマ 確かな体育的学力定着を目指す授業研究、競技力向上を目指す動作解析



有光 琢磨 特任助教

専門分野 運動生理学
研究テーマ 運動時の筋エネルギー代謝調節及び酸素摂取動態に関する研究



岡松 秀房 特任助教

専門分野 アスレティックトレーニング・スポーツ医学・トレーニング科学
研究テーマ スポーツ傷害予防やアスレティックリハビリテーションに関する研究



寺田 昌史 助教

専門分野 スポーツ医学・運動神経生理学・バイオメカニクス
研究テーマ 身体運動にともなう下肢傷害(特に足関節捻挫とCAI)がどのように人の「生活と健康」に影響を与えるかを探索



佐藤 隆彦 特任助教

専門分野 スポーツバイオメカニクス
研究テーマ 優れたスポーツパフォーマンスを生み出す運動メカニズムの解明

健康運動科学

一人ひとりに合った運動処方を見極める

加齢にともない、体重は変わらないのに、筋量が減り脂肪が増える「隠れ肥満=サルコペニア肥満」に着目し、解消するための有効的な運動処方の研究・開発に取り組んでいます。加齢による身体変化の個人差は大きく、効果的な運動処方も異なります。そこで目指しているのが、科学的根拠に基づいたテーラーメイドな運動処方です。ただ、国内の7割の方が運動習慣がないというデータがある中で、日常生活に運動を取り入れて頂くにはどうすれば良いか、生理学や心理学も含めた学際的なアプローチも課題の一つです。



真田 樹義 教授

専門分野 応用健康科学・運動処方
研究テーマ スポーツ指導場面・体育学習場面における教授・学習に関する研究



篠原 靖司 教授

専門分野 スポーツ医学・整形外科科学
研究テーマ 機能解剖学的アプローチによるスポーツ傷害に関する研究



田畑 泉 教授

専門分野 健康科学
研究テーマ 身体活動・運動による生活習慣病予防に関する研究、競技力向上のための高強度・短時間・間欠的トレーニングに関する研究



橋本 健志 教授

専門分野 運動生理・生化学
研究テーマ 脳機能や脂肪燃焼の亢進および乳酸の有効利用に関する研究



藤本 雅大 助教

専門分野 身体運動のバイオメカニクス、リハビリテーション科学
研究テーマ 加齢による姿勢・運動制御機能の低下メカニズムの解明

スポーツ教育学

全ての子供に運動・スポーツの価値の享受を

運動が嫌いな子供も好きな子供も、等しく運動・スポーツの価値を味わい、人生を豊かに過ごして欲しい。そんな思いを実現したいと考えています。そのために、子供達の運動への取組、指導者との会話、子供達同士の話し合い等を分析し、法則を探索してきました。それらを踏まえて、滋賀県、北九州市、高知県、茨木市、群馬県等で先生を対象とした研究や研修を進めています。その結果、研修を受けた先生の指導により、子供の体育嫌いが少なくなったという効果を得ました。



大友 智 教授

専門分野 スポーツ教育学、体育科教育学
研究テーマ スポーツ指導場面・体育学習場面における教授・学習に関する研究



海老 久美子 教授

専門分野 スポーツ栄養学、栄養教育
研究テーマ 栄養的支援と食教育の効果についての研究



岡本 直輝 教授

専門分野 コーチング
研究テーマ 競技力向上に関するコーチング研究



佐久間 春夫 教授

専門分野 スポーツ心理学、精神生理学、健康心理学、スポーツ統計
研究テーマ 運動・スポーツの心理的側面に関する科学的根拠を探索



上田 憲嗣 准教授

専門分野 体育科教育学・発達発達学
研究テーマ 子どもの身体と運動の発達発達と体育・スポーツ指導に関する研究



永浜 明子 准教授

専門分野 学校保健学、アダプテッド・スポーツ
研究テーマ インクルーシブ体育のあり方、指導者育成に関する研究



友草 司 准教授

専門分野 スポーツ教育学・体育科教育学
研究テーマ 社会的スキルを獲得させる体育授業プログラムの開発及びその効果が学校教育全般に及ぼす影響に関する研究

スポーツマネジメント

スポーツが有する価値をまちづくりに活かす

社会では、「オープン・イノベーション」や「ラテラル・マーケティング」という言葉が飛び交っています。これらに共通するのは、従来の発想から脱却し、異業界や異業種の資源や強みを活かして、新たな価値や市場を創造するという視点です。スポーツが有する価値をまちづくりにつなげるために、「SPORTSでビジネスをクリエイトする」「SPORTSで社会的課題を解決する」「SPORTSで新たな価値を創造する」という視点から地域のブランディングやまちを活性化させる仕組みづくりについて研究しています。



長積 仁 教授

専門分野 スポーツマネジメント
研究テーマ スポーツによるソーシャル・キャピタルとまちづくり、異分野の連携がもたらす価値創造



種子田 稔 教授

専門分野 経営学、スポーツビジネス、スポーツマネジメント
研究テーマ プロスポーツビジネスモデルの研究



山浦 一保 教授

専門分野 産業・組織心理学
研究テーマ 信頼ベースのリーダーシップとチーム力向上に関する心理学的研究



杉浦 仁美 講師

専門分野 社会心理学・集団力学
研究テーマ 他集団への否定的評価、攻撃行動が生起する心理メカニズムの検討



祐伯 敦史 准教授

専門分野 神経言語学
研究テーマ 言語理解や習得のプロセスについて研究・解明



嶋村 貢志 講師

専門分野 理論言語学(生成統語論、形式意味論)
研究テーマ 格・一致に関する統語的現象の通言語的研究。日本語の補文構造の再考

＜大友 智＞

- 「21世紀スポーツ大事典〈授業研究の方法と研究成果〉」大修館書店:560-563.2014
- ＜永浜明子＞
 - 「発達障がいのある青年との交換日記ー感情表現と関係性構築の観点からー」メタフュシカ.45:97-110.2014
- ＜海老久美子＞
 - 「女子部活友」ベースボールマガジン社.2014

＜長野 明紀＞

- バイオメカニクス ー人体運動の力学と制御-長野明紀、古岡伸輔 (訳書) ラウンドフラット
- ＜藤田 聡＞
 - 体育・スポーツ系指導者・学生のためのスポーツ栄養学 (共著/市村出版)
- ＜藤本 雅大＞
 - Single and multiple step balance recovery responses can be different at first step lift-off following lateral waist-pull perturbations in older adults. Journal of Biomechanics. (2017)

執筆論文・書籍

- ＜真田 樹義＞
 - 「サルコペニアを知る・測る・学ぶ・克服する」(共著/NAP)
- ＜大塚 光雄＞
 - Effect of expertise on 3D force application during starting block phase and subsequent steps in sprint running Journal of Applied Biomechanics (2014)
- ＜岡本 直輝＞
 - A agility test for rugby using sidestep. Football Science : 12, 11-17, 2015.

Study

社会人基礎力とグローバルな視野を備えた人材には、多様な進路が広がっている

卒業生の声

1



篠田 茉那 さん

美津濃株式会社
グローバルフットウェアプロダクト本部
企画部 インディア・ラケットスポーツ企画課
東京都・東京都立西高等学校出身

製品コンセプトやストーリー それを形にする仕事

弊社は、総合スポーツメーカーとして野球や陸上競技、ゴルフなど、幅広い分野でプレーヤーのサポートを行っています。現在は、バレーボールシューズの企画担当として、次シーズンモデルのカラー決定の為に大会へ足を運んで選手にヒアリングをしたり、自社と他社の製品比較を行い、特長をまとめたりしています。ゼロの状態から製品の物語やコンセプトを考え、開発部門やデザイン部門と意見を交わしながらモノづくりを進めていく仕事なので、製品に対する想いを一番ストレートにぶつけられる、非常にやり甲斐のある仕事です。将来的には、現在担当しているバレーボールシューズにおいて、代表選手が着用するようなシューズを企画し、「日本代表」という大きな責任感の中で製品を世の中に生み出してみたいです。そして長期的には、私自身がこれまでずっと続けてきたテニスのシューズ企画にも携わっていきたいと考えています。

卒業生の声

2



堀居 直希 さん

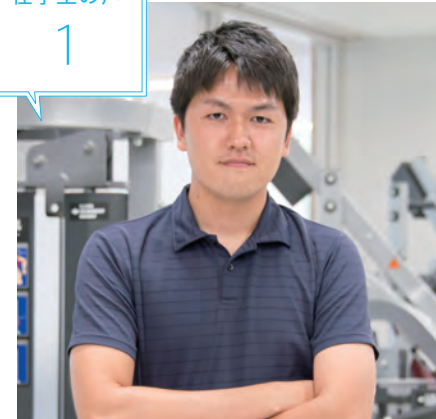
大学院2回生／スポーツ健康科学研究科
スポーツ健康科学専攻
博士課程前期課程
立命館大学スポーツ健康科学部 出身

自分の研究が 数年先の未来社会で活かせる

高校時代はスポーツトレーナーになることを目指してこの学部を選びましたが、本学部での4年間の学びを通して研究の面白さに気づき、大学院で研究を続けることを選択しました。現在取組んでいる主な研究は、動物を対象とする骨格筋に関する基礎研究です。これは、身体に良いとされている事柄の科学的なメカニズムを、動物を用いて検証しています。この研究は、例えば高齢による筋力の低下を防ぐために効果的であると言われているレジスタンス運動のメカニズムの解明や、サプリメントが人の身体にもたらす効果の検証などにも有用です。もちろん、短期的に解明できるものではなく、非常に長期的な視点で取組む研究である為、今後もこの研究を続けるために大学で研究職に就いて研究を続けようと考えています。自身の研究が、数年先の未来社会において、日本だけでなく世界中の人たちの生活向上に貢献できる可能性があることが、一番の原動力です。

在学生の声

1



鈴木 拓也 さん

4回生／三重県・私立高田高等学校出身
スポーツ科学コース所属

準医療従事者として 選手をサポートする

入学直後に、米国公認アスレティックトレーナーという、準医療従事者としてスポーツ選手を支える資格、そしてそれを取得可能なグローバル・アスレティックトレーナー（GAT）プログラムの存在を知りました。本プログラムへの参加には高い英語力が必要なのですが、私は英語が苦手だったため1回生の前半は非常に苦労しました。しかし、教職員の方のサポートもあり、同年の冬には英語でのアスリートのインタビュー内容が理解できるようになりました。英語は単なる勉強の対象ではなくコミュニケーションツールであると認識が変わってからは、学習が楽しくなり、無事に必要な英語基準に到達できました。今夏より、プログラムに則った資格取得を目指すため、アメリカの大学院に進みます。資格取得後は、高校でのアスレティックトレーナーの普及や、選手だけでなくコーチなどスポーツに関わる全ての人々がより安全に、安心して全力でスポーツに取り組めるようにしていきたいです。

総合的・学際的な学びを通し、専門知識とその関連領域の幅広い基礎知識を養い、理論と実践の融合したカリキュラムで身につけた社会人基礎力やグローバルな視野を備えた人材は、さまざまな分野での活躍が期待されます。



在学生の声

2



八津谷 陽香 さん

4回生／東京都・私立関東第一高等学校出身
健康運動科学コース所属

自分の研究によって アスリートの競技力向上を目指す

私が通っていた高校は、スポーツの強豪校でもあり、いつも身近にトップアスリートがいる環境でした。その体験から、研究面でアスリートをサポートすることや、科学的根拠を持った効果的なトレーニングについて深く学びたいと考え、研究力が高いだけでなく、研究設備が整っている大学を探していました。本学部に決めたのは、実験で使用してみたいと考えていた低酸素実験室やMRI（核磁気共鳴画像診断装置）などの充実した設備を保有し、それを大学院生ではなく学部生のときから使用できることから、進学を決めました。関東から一人、関西に来ることに不安はありましたが、実際に入学すると、オリター制度（1年次の小集団クラスを補助する先輩学生）の制度）など、立命館大学特有のサポートもあり、入学直後から楽しい学生生活を送ることができています。3回生の後期には、スポーツが健康維持のためにとても有効であることを、運動が身近でない人に伝えていきたいと思い「健康運動

取得可能な資格

- 健康運動指導士※1
- 健康運動実践指導者※1
- 日本体育協会公認スポーツ指導者※2
- トレーニング指導者※1
- ATC（米国 公認アスレティックトレーナー）
- 中学校教諭一種免許状（保健体育）
- 高等学校教諭一種免許状（保健体育）

※1 認定試験の受験資格が得られます。

※2 資格取得に必要な基礎的な科目の修得が可能です。

就職分野と実績

■スポーツ関連企業

(株)アシックス・美津濃(株)グンゼスポーツ(株)・(株)ゴールドウィン・ゼビオ(株)・セントラルスポーツ(株)・つるや(株)・(株)デサント・(株)ドーム・(株)東大阪スタジアム・(株)ビバ・山本光学(株)・(株)楽天野球団・(株)モンベル 他

■教職員・公務員

京都府教育委員会（小学校・中学校）・京都市教育委員会（小学校）・長浜市役所 他

■サービス・マスコミ

(株)TBSテレビ・(株)デイリースポーツ・東海テレビ放送(株)・(株)アサツー ディ・ケイ・東映(株)・出光興産(株)・大阪ガス(株)・関西電力・(株)NTTドコモ・静岡ガス(株)・北海道電力(株)・中部電力(株)・北海道旅客鉄道(株)・西日本旅客鉄道(株)・九州旅客鉄道(株)・伊藤忠商事(株)・三井物産(株)・豊田通商(株)・日本航空(株)・全日本空輸(株) 他

■食品

アサヒフードアンドヘルスケア(株)・エスビー食品(株)・カゴメ(株)・(株)フルボン・(株)ヤクルト本社・ハウスウェルネスフーズ(株)・キリン(株)・サントリーホールディングス(株)・味の素(株) 他

■医療

武田薬品工業(株)・アステラス製薬(株)・(財)近畿健康管理センター・塩野義製薬(株)・シスメックス(株)・ゼリア新薬工業(株)・東レメディカル(株)・日本赤十字社・ロート製薬(株)・久光製薬(株) 他

■メーカー

キヤノン(株)・テルモ(株)・(株)豊田自動織機・住友電気工業(株)・(株)LIXIL・アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)・(株)ワコール・日本たばこ産業(株)・京セラ(株)・三菱製鋼(株)・(株)ファーストリテイリング・帝人(株)・富士通(株)・花王(株) 他

■金融・保険

(株)香川銀行・(株)京都銀行・京都信用金庫・京都中央信用金庫・(株)滋賀銀行・住友生命保険(相)・第一生命保険(株)・日本生命保険(相)・三井住友海上火災保険(株)・(株)三井住友銀行・明治安田生命保険(相)・(株)三重銀行・(株)三菱東京UFJ銀行・(株)みずほフィナンシャルグループ・野村證券(株) 他

■大学院進学

スポーツ健康科学研究科 博士課程前期課程

立命館大学でキラリと輝く先輩を紹介中！

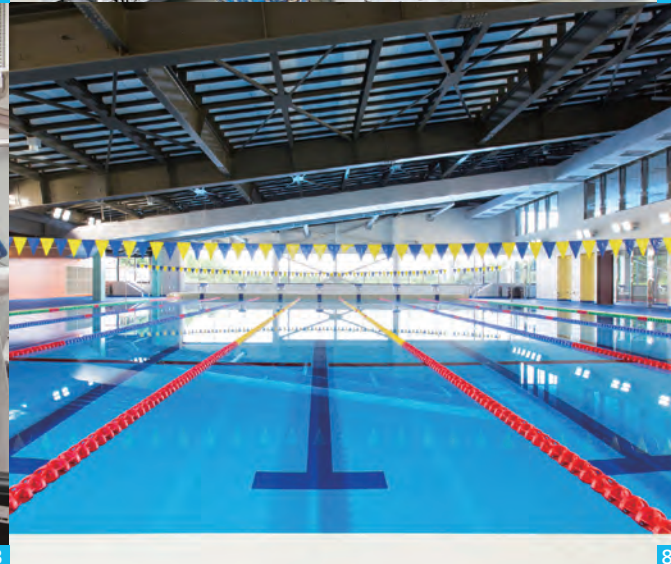


Learning

最先端の教育・研究環境が、高度で充実した学びをサポート

最先端の教育・研究を実現するため、高度な研究に欠かせない充実した施設・設備を保有しています。

興味のある研究を深めるために学部生のうちから、このような環境を存分に利用することができます。



学部生の
うちから
最新鋭の設備を
使用できます

1 スポーツパフォーマンス測定室

野球やゴルフ、ランニングなどのスポーツ動作をはじめ、あらゆる動作の計測・解析が行える多目的スペース。複数の「ハイスピードカメラ」を設置しており、投げたボールの回転をスローモーションで観察するといった相対分析もできます。

2 エネルギー代謝測定室

「壁面のセンサ」で人間の1日の正確なエネルギー消費量を測定することが可能です。

3 低酸素実験室

低酸素環境下でのトレーニングが身体に与える影響を解析することができます。

4 栄養調理実習室

システムキッチンや調理器具が整っており、競技力向上につながるメニューや栄養価の高い料理などを実際に調理することが可能です。またダイニング部分は、子どもから高齢者までを対象とした「食育」を実践する場として活用します。

5 トレーニング指導実習室

トップアスリートの筋力増加を想定した各種「トレーニングマシン」や「フリーウエイト機器」を完備。現場におけるトレーニング技術の習得をめざします。

6 スポーツ健康指導実験室

筋パワーや持久力の測定評価ができる「パフォーマンス測定システム」や、人間の体型を3次元で瞬時に解析する「3次元人体計測システム」など、多様な機器を設置しています。

7 MRシステム・骨密度測定装置

人間の体内の状態や脳内の働きを調べることができる「MRシステム」、骨密度や体脂肪、除脂肪量などの体組成を推定する「骨密度測定装置」を設置。これらを利用して、スポーツ健康分野に関連した高度な研究ができます。

8 スポーツ健康commons

通年使用可能な2.5m公認プール(温水)7レーン、50mの屋外プール4レーンを設置した体育館は、実習科目や測定実験等で利用することが可能です。

奨学金

学生を全面的に
サポートする
充実の奨学金制度

立命館大学では豊富な独自奨学金を設け、学業はもちろん、スポーツ活動、留学など、自分の目標にチャレンジする学生を幅広くサポートしています。本学独自の給付制奨学金のほか、日本学生支援機構や公的機関・民間団体などの各種奨学金制度が充実。→ 詳しくはリッスンネットをご覧ください。

立命館 入試情報サイト 検索

■スポーツ健康科学部 2018 年度入試概要 (予定)

募集人数 **235名** ※募集人数は、一般入試、AO入試、特別入試、学内進学等による募集人数の合計です。

※以下の入試概要は変更される場合があります。
詳細は入学試験要項 (AO：6月下旬、一般：10月下旬発行予定) でご確認ください。

Webからダウンロード可能 立命館 入試情報サイト 検索

入試方式		試験科目・概要	出願期間 (郵送・最終日消印有効)	選考・試験日	試験地	合格発表日
AO入試	グローバルアスレティックトレーナー方式	【第1次選考】書類審査 【第2次選考】小論文、個人面接 (口頭試問含む)	〈郵送〉 2017年 8月28日 (月)～9月1日 (金)	【第2次選考】 10月8日 (日)	びわこ・くさつ キャンパス	【第1次選考】 9月29日 (金) 【第2次選考】 10月18日 (水)
	教員熱望方式	【第1次選考】書類審査 【第2次選考】「プレゼンテーション用資料」作成、 プレゼンテーション、個人面接 (口頭試問含む)				
一般入試	3教科型	全学統一 (文系)	〈インターネット〉 2018年 1月5日 (金)～1月19日 (金)	2月1日 (木) 2月2日 (金) 2月3日 (土) 2月4日 (日)	① ②	2月15日 (木) 13時
		学部個別配点 (理科1科目型)		2月7日 (水)		
	センター試験併用方式 [3教科型]	【外国語】 (配点：100点) 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ) 【国語】 (配点：100点) 国語総合 (近代以降の文章)、現代文B 【センター試験受験科目】 (配点：100点) 数学、公民、地理歴史、理科から高得点1科目を採用	〈インターネット〉 2018年 1月5日 (金)～1月25日 (木)	2月8日 (木) 2月9日 (金)	①	2月18日 (日) 13時
				2月7日 (水)		
	センター試験方式	7科目型	〈インターネット〉 2018年 1月5日 (金)～1月12日 (金)	本学独自の試験は実施せず、 センター試験の 得点のみで判定。 同一・他学部の各科目・ 教科型を併願することも可能。	①	2月15日 (木) 13時
		5教科型				
		後期型 (4教科型) 3月選考	〈インターネット〉 2018年 2月10日 (土)～3月1日 (木)			
	後期分割方式	センター試験併用 3教科型	〈インターネット〉 2018年 2月10日 (土)～2月23日 (金)	3月7日 (水)	①	3月16日 (金) 13時
試験地		①東京・金沢・名古屋・草津・京都・大阪茨木・大阪南・神戸・広島・高松・福岡 ②札幌・仙台・大宮・新潟・松本・静岡・浜松・福井・三重・姫路・和歌山・岡山・松江・山口・松山・高知・北九州・大分・熊本・鹿児島				

※各入試方式の出題範囲等については、入学試験要項で確認して下さい。

※インターネット出願の入試方式の場合でも、調査書等の出願書類は別途郵送が必要であり、出願期間最終日の消印有効です。

information 1 公式LINEを開設しました!



スポーツ健康科学部
公式LINE OPEN !!

学部の最新情報をお知らせします!

@rits_spoken



information 2 スポ健Blog 教員ブログ毎日更新中!! 公式WEBサイトよりご覧ください。



facebook <https://www.facebook.com/rits.spoken/>

公式WEB 立命館 スポーツ健康科学部 検索

R +R 未来を生み出す人になる。
立命館大学
RITSUMEIKAN
UNIVERSITY

〈お問い合わせ〉
びわこ・くさつキャンパス
スポーツ健康科学部事務室
〒525-8577
滋賀県草津市野路東1丁目1-1
TEL. 077-561-3760

